

令和6年9月3日

学校法人 実学舎
埼玉コンピュータ&医療事務専門学校
学校関係者評価委員会

令和5年度についての学校関係者評価委員会 報告書

学校関係者評価委員会を令和6年8月26日、本校にて実施しました。その結果を下記のとおりご報告いたします。

記

1. 開催日時

・令和6年8月26日（月） 15時00分～16時00分

2. 場所

・本校 205 講義室

3. 出席委員と本校からの出席者

出席委員：

長谷川 清司 （元高等学校校長）

斉藤 等 （株式会社アイネット 管理部 部長）

榊谷 都由 （イシイ株式会社 マーケティング部 取締役）

小林 均 （株式会社太洋社印刷所 総務部 取締役 部長）

千葉 崇文 （アイジャパン株式会社 総務人財開発部 部長）

小林 恵美 （父母等）

山下 綾子 （父母等）

土屋 雅弘 （卒業生）

本校からの出席者：

坂本 健司（理事長）、高野 庸夫（校長）、深野 敦史（教務部長）、大木 健一（教務部長代理）、杉浦 真一（総務・広報課長）、オブザーバ 永嶋 龍次（相談役）

4. 学校関係者評価委員会次第

① 開会

② 議長選任

③ 自己紹介

- ④ 自己点検・評価結果の説明（校長）
- ⑤ 委員による評価および意見交換
- ⑥ 閉会

5. 自己点検・評価結果の説明（校長）

別紙「令和5年度についての学校自己点検・評価報告書」をもとに、その結果について説明しました。

6. 委員による評価および意見

別紙「令和5年度についての学校自己点検・評価報告書」をもとに評価を行い、その内容は概ね良好であると結論づけました。なお、委員による評価および意見は下記のとおりです。

●委員による評価

※評価は5段階（未達成、不十分、普通、ほぼ達成、達成）で実施しています。

1.教育理念・目的・育成人材像等		評価
評価項目	1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか	達成
	1-2 学校の特色はなにか	達成
	1-3 学校の将来構想を抱いているか	達成
2.学校運営		
評価項目	2-4 運営方針は定められているか	達成
	2-5 事業計画は定められているか	達成
	2-6 運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか	達成
	2-7 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか	達成
	2-8 意思決定システムは確立されているか	達成
	2-9 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	達成
3.教育活動		
	3-10 各教科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向づけられているか	達成

評価項目	3-11 各学科の教育目標、育成人材像を構築する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか	達成
	3-12 カリキュラムは体系的に編成されているか	達成
	3-13 学科の各教科は、カリキュラムの中で適正な位置付けをされているか	達成
	3-14 授業評価の実施・評価体制はあるか	達成
	3-15 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	達成
	3-16 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	達成
	3-17 資格取得の指導体制はあるか	達成
4.教育成果		
評価項目	4-18 就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	普通
	4-19 資格取得率の向上が図られているか	達成
	4-20 退学率の低減が図られているか	ほぼ達成
	4-21 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	達成
5.学生支援		
評価項目	5-22 就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	達成
	5-23 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	達成
	5-24 学生の経済的側面に対する支援が全面的に整備され、有効に機能しているか	達成
	5-25 学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか	達成
	5-26 課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか	未達成
	5-27 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	普通
	5-28 保護者と適切に連携しているか	達成

	5-29 卒業生への支援体制はあるか	ほぼ達成
6.教育環境		
評価項目	6-30 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備できているか	達成
	6-31 学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	ほぼ達成
	6-32 防災に対する体制は整備されているか	達成
7.学生の募集と受け入れ		
評価項目	7-33 学生募集活動は、適正に行われているか	達成
	7-34 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	達成
	7-35 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	達成
	7-36 学納金は妥当なものとなっているか	達成
8.財務		
評価項目	8-37 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	達成
	8-38 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	達成
	8-39 財務について会計監査が適正におこなわれているか	達成
	8-40 財務情報公開の体制整備はできているか	達成
9.法令等の遵守		
評価項目	9-41 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	達成
	9-42 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	達成
	9-43 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	達成
	9-44 自己点検・自己評価結果を公開しているか	達成
10.社会貢献		

評価項目	10-45 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	不十分
	10-46 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	普通

●評価、意見交換

1. 退学率低減

- ・学科・コース別の状況を把握し、適切な対応を行う必要があるのではないか。
(企業等委員)
- ・退学理由は様々なので、学生一人ずつに寄り添い相談するなどの対応が大切である。
(企業等委員)
- ・主な退学理由は、学校不適應や体調不良である。(本校)
- ・今年度オリエンテーションを1日から3日に拡充したことによる効果を確認する。
(本校)

2. 就職率向上

- ・卒業生に対する支援は評価できる。(企業等委員)
- ・インターンシップの拡充を図るなら可能な範囲で協力したい。(企業等委員)

3. 学生のモチベーション向上

- ・教員の授業はよいが、学生同士の交流が少なく楽しい雰囲気にならないと言っている。
(父母等委員)
- ・現在、学生の交流を図る学校行事は実施していない。そのような学校行事を嫌がる学生もいるが、楽しめる学校行事の実施を検討する。(本校)
- ・企業でも、新入社員研修などで、交流を図る行事を実施している。(企業等委員)

以上